



Fellow's Report

令和4年

《7月号》

＝ものづくりの仲間から＝

令和3年度 工事事故集計結果

公益財団法人横浜市建築保全公社では、日頃より工事等の事故発生防止を目指し、各種研修会、安全パトロールなどを実施しています。

令和3年度の工事等で、物損その他のトラブル事案が48件ありました。そのうち、安全管理措置が不適切であった29件を「事故」として、注意の喚起等の措置を適用しました。

公社では、トラブル事案について、事故審査委員会の審議を経て、安全管理措置の不適切性を判定し、注意の喚起、警告、契約不適格者認定の適用を決定しています。

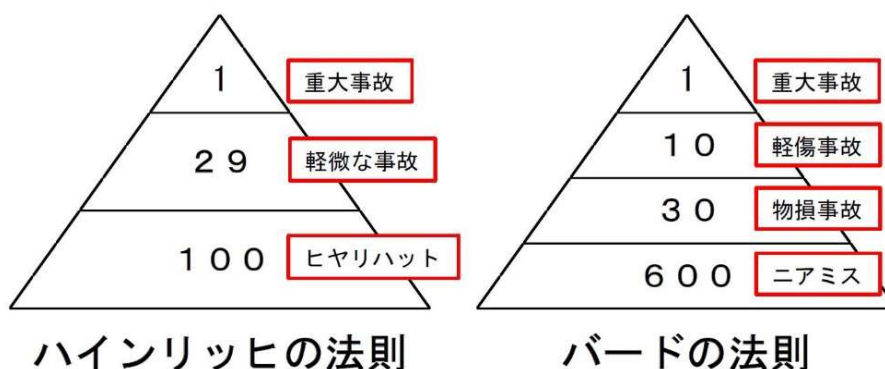
工種ごとのトラブル事案の内容と件数

内容	建築	電気	機械	計
物損	16(12)	3(1)	5(4)	24(17)
誤発報	6(4)	0	2(1)	8(5)
雨漏り	6(3)	0	0	6(3)
ブレーカー短絡	1(1)	1	0	2(1)
誤接続通電	0	1(1)	0	1(1)
熱中症	1	0	0	1
施設利用者体調不良	1	0	0	1
第三者障害	1(1)	0	1(1)	2(2)
労働災害	0	0	1	1
その他	2	0	0	2
計	34(21)	5(2)	9(6)	48(29)

()内の数字は事故扱いにした件数を示します。

※ハインリッヒの法則とバードの法則の事故比率が下記となります。

令和4年度の物損事故が令和3年度と同等と仮定すると、重大事故が発生する可能性がありますので、「**事故0**」を目指しましょう。



主な事故概要

【物損】

- ① 更新工事で揚水管を切断したら、誤って生きた揚水管を切断した
- ② 工事用車両（4 t 車）の車輪が汚水柵マンホール蓋に乗ったため、当該蓋にヒビが入った
- ③ ペントハウスの出口扉（アルミ製ガラス戸）を開けたままにして配管材料を運搬中、台風接近中の強風で扉が激しく閉まり、衝撃で下段の網入りガラスがひび割れた
- ④ 養生シートのロールを持って運搬中、振り向いて後方の確認をしたら、当該ロールが教室の突き出しサインに接触し、サインを破損した
- ⑤ 一人で足場の1段目の枠をジャッキベースに乗せ、手を離してブレースを取り付けようとしたところ枠が倒れて消火器ボックスを破損した
- ⑥ 竪樋撤去作業中に樋を切断していたところ、樋の裏に沿わせてあった光通信配線を切断した
- ⑦ 高所作業車を乗せた搬入トラックで石張りの化粧側溝蓋の上を走行（徐行）し、側溝蓋約40枚を破損した
- ⑧ コア抜き作業中、埋設電線を損傷し、周辺の電灯・コンセントが停電した

【誤接続通電・ブレーカー短絡】

- ① 3階の100V回路（コンセント、誘導灯）に200V電源を誤接続し通電したため、コンセント接続中の機器の一部及び誘導灯を破損した
- ② 工事用電源として施設のコンセントを借用していたところ、施設の分電盤のブレーカーが落ちた

【第三者障害】

- ① 撤去した室内機用吊りボルトをロビー（市民・区職員の動線部）のロッカー上部に置き忘れ、区職員がロッカーの開閉を行ったところ、ボルトが落下し右腕に接触した

【火災報知機誤発報】

- ① PS 内で撤去配管搬出のため持ち上げたところ、熱感知器にぶつけて破損し警報盤のブザーを発報させた

【熱中症・労働災害】

- ① 足場組立中の作業員が、気分が悪くなり、涼しいところで休憩させたが、おう吐したため病院へ救急搬送し治療した。翌日は回復して作業した
- ② 保温カバーの板金加工中細かい部分の加工のため、切創防止手袋からゴム手袋に変えて作業していたところ、工具を持っていた手が滑り、小指が板金の角に接触して負傷した